



Zikomo kwambiri!



ジ コ モ

ク ワ ン ビ リ

ザンビアで初めての運動会!

Muli Bwanji(ムリブワンジ)? 4月19日、支援級の子どもたちを対象にプチ運動会を開きました!当日はザンビア隊員6名が手伝いに来てくれました!学校の先生が多いザンビア隊員、とても心強かったです。

種目は、100M 走、二人三脚、玉入れ、応援合戦、障害物競走、リレーです!クラスごとに紅組と白組に分かれて行いました!チテンゲで作った赤と白のハチマキを巻いて、嬉しそうにする子どもたちの笑顔がなんとも眩しい。100M 走が無事に終わり、さあ次!と思っていたらここでプチハプニング!チテンゲで作った紐が切れてしまってレースにならない!それも諦めずちゃんとレースを続けた現地の人たちは本当にまっすぐだと思いました。

一番盛り上がった競技は、玉入れです!日本のチエツチエツコリダンス(隊員でも知らなかった人がいましたが、みなさん知っていますか?笑)を取り入れたこと、全員が参加できたことが嬉しいポイントでした。ブレイクタイム(おやつ休憩)を挟み、その後の競技も無事に終了。最後には全員でグラウンドのゴミ拾いをし、学校に戻ってからランチのシマを食べてこの日の運動会は幕を閉じました。

運動会を開催して良かったことは3つです。一つ目は何と言ってもたくさんの子どもたちの笑顔が見られたこと!整列指導や応援を通して規律や協働することの大切さを学ぶのも運動会の大事な役目です。ですがやっぱり“楽しい”という気持ちが一番。ケガなく笑顔で終えることができた事が何よりの成果だと思います。二つ目は、先生たちも楽しんでくれて、たくさん協力してくれたことです。準備の段階からアドバイスをたくさんもらったり、買い出しの協力をしてくれたり、「楽しそう!」とノリノリで子どもたちにアナウンスをしてくれたりと、たくさん助けてもらいました。当日も、整列指導、準備体操、ジャッジ、招集、得点とたくさん役割がありましたが、それぞれの役割を全うしてくれて全員で作りに上げた運動会になりました。先生方の指導力の高さを改めて実感して、周りに頼りながら子どもたちのために企画をしてこの学校に還元していきたいなと思いました。三つ目は、これからの活動への収穫になったということです。参加してくれた隊員には「障害者と関わったことがなかった」と言う人がいましたが、みんなが「楽しかった」「来てよかった」と言ってくれたり、手話を覚えてくれたりと、障害の有無、国籍、年齢関係なく楽しめる空間を作ることの大切を実感しました。また、子どもたちへの直接の指導も大切だけれど、周りへのアプローチも同じくらい大切なのだと気づかされ、地域に根付いた学校づくりができたらなと思いました。



話を覚えてくれたりと、障害の有無、国籍、年齢関係なく楽しめる空間を作ることの大切を実感しました。また、子どもたちへの直接の指導も大切だけれど、周りへのアプローチも同じくらい大切なのだと気づかされ、地域に根付いた学校づくりができたらなと思いました。

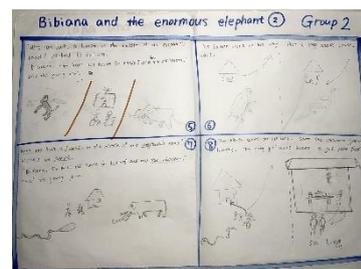
ちなみに運動会の最後に、私はまだ何も言っていないのに現地の先生が「2学期もやるから!」とアナウンスしていて、嬉しくて心の中でニヤニヤしていました。



Deaf でグループワークってどうやるの？



1学期間に担当したクラスは聴覚障害の5年生です。従来の授業スタイルは教科書の内容を黒板に書いて、その内容を手話で訳して説明する、といった感じです。ですが、それだと使われている単語一つ一つの手話は分かって、内容をどこまで理解しているかわからない、という課題がありました。また、英語の文を直



訳で手話に直しても、そもそも英語の理解力がそこまで高くないので、わからない。逆に手話の文法的なものはカタコト英語のような順番になるのですが、その方が内容を理解できるようです。そこで、授業ではグループワークを取り入れて、視覚教材を使いながら話し合いをしてもらい、子どもたちの理解を促しました。

例えば英語の授業では、お話を読んで、4コマ漫画のようにその文章にあった絵を描くというワークをしました。家の位置の記述について"middle of the road"とあれば、"middle"と"of"と"the"と"road"は手話でどうやるかわかるけれど、家が実際どこにあるのかはわかっていないという場合があります。すると、「家の位置はここだ」「いや、こっちだよ」と話し合いを通して、文章をイメージ化することに成功。そうすると、内容を結構覚えていて、次の時間の復習ではすらすらと回答がでてきます。ちなみに子どもたちはみんな絵が上手(独特なタッチです)。ゾウを描くのって難しくないですか？



理科でのグループワーク！
カードを並び替えます！

理科②
なぜこうなったかを発表



“My Name Erika, Sign E”

突然ですが、みなさんは名前にも手話があるってご存知でしたか？聴覚障害の子たちは自己紹介をするときに、名前をアルファベットの指文字で示してから、サインではこうやります、とその動作を教えてください。例えば私の場合は、“MY” “NAME” “E” “R” “I” “K” “A” “SIGN” “E (Eの形を作り、胸のあたりで上下に動かす動作)”となるのです。この名前の手話はニックネームのようなもので、どんな動作でもOKです。基本的には名前の最初のアルファベットの形を作って、サインします。私の名前の手話は同僚の先生が考えてくれました。子どもたちも入学すると、自分の名前を手話でできるように練習します。

先日同期の Sayaka と Shota が遊びに来てくれた時に、子どもたちが二人に名前の手話を伝授してくれました。どちらもSなので、私はどっちがどっちの動作かわからなくなってしまいます(笑)